

新庄神室産業高校

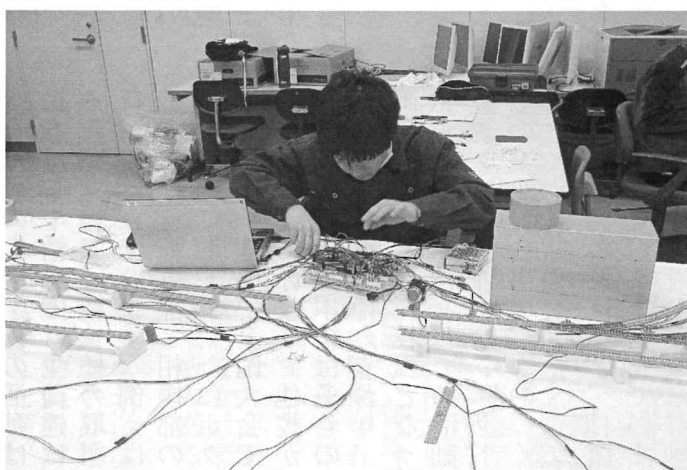
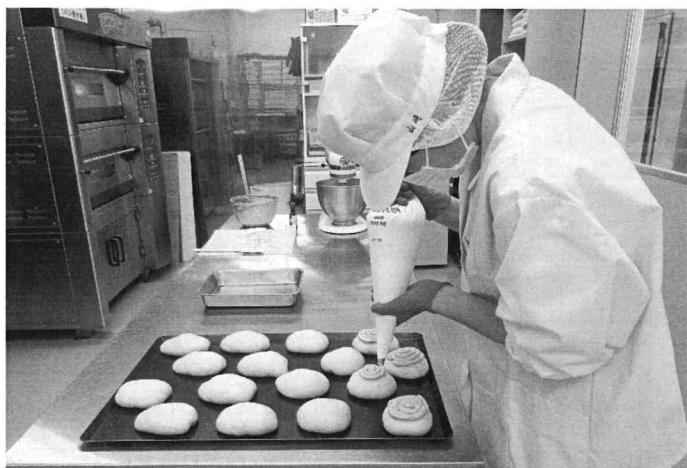
同窓会だより

vol.19

令和4年2月28日発行

発行：山形県立新庄神室産業高等学校同窓会広報委員会

印刷：(有)みどり印刷



地域連携学習報告

事務局 高橋 誠

今年度も地域や企業と連携した学習活動が数多く実践されてきました。特に地域と密着した取り組みを紹介します。

農業科では、金山産落花生を使用したお土産菓子の商品開発を目指したプロジェクトに参加し、加工特性や市場調査から、落花生特有の豊かな香りと風味を生かした大福づくりに挑戦しました。新庄駅での試験販売も実施し、生産者の思いや、私たちの伝えたいカタチを表現することの難しさを学びました。今後は商品化に向けて進めていきます。

工業科では、「もがみのジオラマ」×「鉄道模型」×「地域インフォメーション」を目指した「ゆめりあ鉄道のまち創造プロジェクト」をスタートさせました。初年度は新庄市のジオラマ制作に取りかかり、鉄道模型を動かすための線路敷設と制御を機械電気科が担当し、土台や風景、地域の観光名所を環境デザイン科が担当しています。最上地域八市町村が出来上がるまでは数年後になりますが、今後も地域の方々に参加していただき、地域の観光インフォメーションを育てていきたいと考えています。



コロナにまげず 攻めて前進

同窓会会長
元木 洋介

同窓会会員の皆様には置かれましては益々ご健勝にてご活躍の事とお喜び申し上げます。また同窓会の活動に対しましては深いご理解とご協力、御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて今年も新型コロナウイルスに始まった年になりました。コロナも変異をしながら感染を拡大しています。ワクチン接種も進んでいるものの収束が見えてこないのが心配されるところです。コロナが日本に感染をもたらしてから三年目に入りました。此のことにより学校行事部活動はもとより同窓会活動も制約の中で開催しなければならぬ現状です。

令和三年度同窓会総会も支部長役員のための総会になってしまいました。本来なら多くの会員参加のもとで開催を望んでいるところですがコロナ対策上やむを得なかったことは残念でした。また関東支部同窓会総会も中止を判断した報告を頂いたところです。

新型コロナウイルスは変異を繰り返すたびに感染力は強いものの重症度は弱くなってきたり、ワクチンや飲み薬の開発により収束が見えてくるのではないかと思います。これからは今と同じよう

にコロナ対応しながらウィズコロナで乗り切っていきたいと思っております。

さて今年には新庄神室産業高校創立二十周年の節目の年です。すでに実行委員会も立ち上がり記念式典の準備に入っています。期日は九月三十日(金)を予定して現在進めているところです。是非とも会員の皆様方からのご支援をお願いいたします。

また生徒の皆さんもよく頑張っています。庄内銀行ふるさと創造基金の地域貢献大賞を受賞されました。鮭川村の村花に指定している「ミチノクひめゆり」を原料となる色素を抽出し口紅研究成果がメナード化粧品との共同研究が決まったことについて評価されたもの。さらにはローソンと共同開発した「まるでラ・フランスみたいなパン」が県とローソンが実施した「令和三年度高校生山形うまいもの商品開発コンテスト」で最優秀賞の「県知事賞」を受賞されました。厳しい中であって、とても明るいニュースで後輩の励みにも繋がるものと期待をしているところです。

令和四年の同窓会総会及び関東同窓会も計画通り開催できることを願ってやみません。

結びに新庄神室産業高等学校並びに同窓会の益々の発展と会員各位のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます、あいさつと致します。



地域と共に、 次の時代へ

校長 後藤 義昭

同窓会の皆様には、日頃より一方ならぬご支援を賜り、心より御礼申し上げます。新型コロナウイルスが収まらず、今年こそはと楽しみにしておりました今年度の同窓会総会も、会議のみの開催となり、同窓会の皆様方と膝を交えてお話をする機会を逸してしまい残念な思いであります。

さて、今年度の神室産業高校ですが、四月に新入生八十五名が入学し、全校生徒三百十三名でのスタートとなりました。生徒数は減少したものの、学校の活動は以前にも増して活発で、生徒達はそれぞれの立場で、精一杯の取り組みを行ってくれています。例えば部活動では、自転車部と相撲部の全国大会出場に加え、新たにボクシング部で女子選手が全国大会での活躍を果たしています。他校が部員不足に喘ぐ中、本校は多くの部が充実した活動が行えており、文武両道の澆渌とした校風となっております。専門高校としての活動では、農業クラブ主催プロジェクト発表での東北大会出場、ものづくりコンテストにおけるサーベイコンテスト東北大会三位など、日頃の取り組みの成果が実を結んでいます。更に今年には最上広域市町村圏事務組合との連携事業「ゆめりあ鉄道のまちプロジェクト」による地域貢献、「まるでラ・フランスみたいなパン」の東北地区全ロソン店での販売、金山産落花生を生かした商品開発等、地域の課題を題材として、「産学官金」と連携した探究型の学習が数多く実施され、成果を収めることができ、新聞等でも話題となりました。これらの取り組みを通して生徒達は想定を超えた成長をみせてくれました。改めて、今求められている探究型学習の効果を痛感した次第です。

いよいよ今年には本校創立二十周年を迎えます。同窓会長元木洋介様に、二十周年記念事業の実行委員長をお引き受けいただき、記念式典の期日も九月三十日と決まりました。また、令和六年度から商業科が一クラス加わり、「農工商」の三つの学科からなる産業高校へとステップアップいたします。今年度末には、新たな産業高校の教育目標や学びの特徴を定めた教育基本計画が出される予定です。

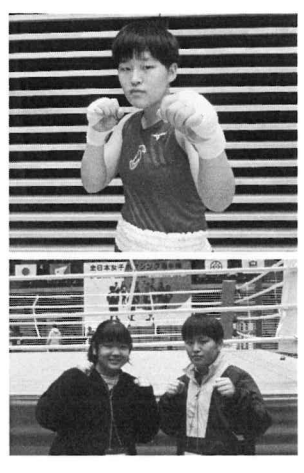
この様な、本校の大きな変革の時期に際し、同窓会の皆様方からの引き続きのご支援のもと、地域の方々と手を携え、この地域になくてはならない存在のある学校であり続けられるよう、教職員、生徒共に努力してまいります。

結びに、新庄神室産業高等学校同窓会の益々のご隆盛をご祈念申し上げます御挨拶といたします。

令和三年度 全日本女子選手権ジュニア大会
ボクシング部
ボクシング部顧問 安達 浩志

新年早々の一月四日から八日、三重県四日市市総合体育館にて大会が開催され、山形県代表としてフェザー級に出場した本校の菊地空（一年食料生産科）は、一回戦で強豪熊本県の九州学院高校の選手と対戦し、一ラウンド目から果敢に打撃戦を挑み僅差判定勝ちしベスト八に進出しました。続く準々決勝は、優勝した群馬県伊勢崎工業高校の選手に、一ラウンド目菊地空の得意の右ストレートで見事にスタンディングダウンを奪いメダル獲得かと思われましたが、その後僅差の打撃戦となり残念ながら三年生の意地に惜敗しました。レベルの高い相手に対し素晴らしい試合を見せてくれました。

これまでの皆様のご支援ご声援に感謝申し上げます。



110111年を振り返って
自転車競技部
自転車競技部顧問 今田 幸広

今年度も新型コロナウイルスの影響が心配されましたが、インターハイまで開催されました。県高校総体では、三年生二名、二年生二名、一年生の全員が入賞をし、総合優勝を果たしました。

東北大会では、個人ロードレースで二年生一名がインターハイ出場権を獲得し、福井県で行われた試合ではアクシデントに見舞われながらも完走しました。

国体県予選では二年生二名と一年生が実力を発揮し、国体少年チームに選抜されましたが、国体が中止という残念な思いをしました。

県新人大会でもこの三名が安定した走りを見せ、大分県で行われる全国選抜大会の出場権を獲得しました。

冬場は室内トレニングになり、単調な練習に耐えなければいけません。女子マネージャー二名も一緒に今後の大会に臨みたいと思います。



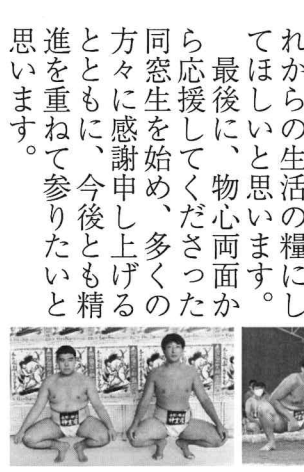
令和三年度 全国高等学校総合体育大会相撲競技会
相撲部
相撲部顧問 本間 健治

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の影響で、二年ぶりに開催された今年度のインターハイは、「輝け君の汗と涙 北信越総体二〇二一」の愛称で開催され、相撲は新潟県糸魚川市民総合体育館特設相撲場で行われました。各都道府県から選抜された一四四名で「高校横綱」の称号をかけて争う、高校相撲では最も権威のある大会です。

本校相撲部から二名が出場し、全国から集まる強豪選手と対戦しました。中学生から全国の舞台を経験している二人でしたが、関係者が集まる中での競技は緊張したようで、予選を突破することはできませんでした。

コロナ禍でさまざまな制約を受けながらも競技ができたことは、目標を掲げて取り組んできた生徒にとって報われたと思います。そして、彼にとって「憧れのインターハイ」を目指して取り組んだ部活動は、かけがえのない経験になったと思います。この経験をこれからの生活の糧にしてほしいと思います。

最後に、物心両面から応援してくださった同窓生を始め、多くの方々に感謝申し上げます。進を重ねて参りたいと思います。



高校生山形の「つまいも」商品開発コンテスト
農産活用科食品製造班
農産科職員 後藤 弥生・沼澤 科子

今年度より二年生に総合実習が配置され、三年時の課題研究に繋がる系統的な学習が可能になりました。食品製造専攻の生徒達には、課題解決能力を養わせるとともに、あわよくば、商品開発のプロセス学習をと考え、「高校生山形のうまいもの商品開発コンテスト」に挑戦させました。その結果、最優秀の県知事賞を獲得し、ローソンの共同開発で、まるでラ・フランスみたいなパンを商品化でき、地域の方々に変身していただきました。また、この取組を通して、多くの方々との関わりの中で、生徒達が確実に成長していることも実感できました。これに満足せず、今後も生徒達と一緒に、地域を元気にする活動を継続して行きたいと思っています。

(文責…後藤)



研究発表会

山形県立新庄神室産業高等学校
研究発表会

生物生産科・生物環境科
美味しく美しい金山産落花生
～お土産菓子の商品化を目指して～
紅花染めの魅力を伝えるために
「高校生山形のうまいもの
商品開発コンテスト」への挑戦
ここをぶどう園とする
果樹園再編整備計画

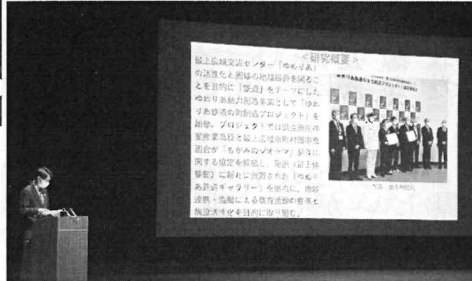
機械電気科

ゆめりあ鉄道創造プロジェクト
～もがみのジオラマ制作事業～
カメラを搭載した自動走行ロボットカーの製作
～カメラ画像によるAI制御を目指して～

環境デザイン科

デザセン2021
～ステーションカード～
農場たい肥置場屋根葺き替え工事

令和3年度
研究発表会



2022.1.22 (土) 12:30～15:20
新庄市民文化会館 大ホール・ロビー

山形県立新庄神室産業高等学校

デザイン系：環境デザイン科 2年 佐藤 慎之介

令和三年度研究発表会が一月二十二日(土)、新庄市民文化会館にて開催されました。コロナウィルス感染対策を万全に行い、保護者や来賓の方々も制限した形で来場していただき開催することができました。

今年度三年生が取り組んだ課題研究全テーマの紹介スライドを皮切りに、農業科・工業科から各四本、合計八本の発表がありました。どの発表も専門的な視点を持ちつつも、高校生らしい発想があふれ、これからの地域産業の発展に寄与するものと確信しております。また、見学していた本校生徒は普段目にするのではない他学科の発表に興味深く聞いていました。

ロビーでは、各学科の作品を展示して、それぞれの特徴や取り組みをたくさんの方に見ていただきたくことができました。

次年度は、今年度の三年生の活躍を引き継ぎ、後輩たちがさらに発展した研究に取組んで、新庄神室産業高校が飛躍することを願っております。

研究発表会発表テーマ

<生物生産科・生物環境科>

- ◆ここをブドウ園とする
～果樹園再編整備計画～
- ◆美味しく美しい金山産落花生
～お土産菓子の商品化を目指して～
- ◆紅花染めの魅力を伝えるために
- ◆「高校生山形のうまいもの
商品開発コンテスト」への挑戦

<機械電気科>

- ◆ゆめりあ鉄道創造プロジェクト
～もがみのジオラマ制作事業～
- ◆カメラを搭載した自動走行ロボットカーの製作
～カメラ画像によるAI制御を目指して～

<環境デザイン科>

- ◆農場たい肥置場屋根葺き替え工事
- ◆デザセン2021 ～ステーションカード～

事務局より

事務局長 斉藤 英文

例年がない大雪となった今年の冬は、まだまだ春の気配すら感じさせてくれません。同窓生の皆様におかれましても日々の除排雪作業に苦勞されているのではないのでしょうか。また、新型コロナウイルスに關しましては、昨年から本格的なワクチン接種が始まっておりますが、変異株などの感染が確認されるなど依然として予断を許さない状況が続いており、ほとほと疲れているのではないのでしょうか。

そのような中、今年も卒業式前日となる二月二十八日に同窓会入会式が行われ、一〇八名の新入会員を迎える運びとなりました。

さて、今年度の総会は懇親会を行わず会議のみとし、本校の産業基礎室で開催いたしました。次回の総会につきましては、コロナの状況を見ながらではあります。九月三日に予定することといたしました。コロナが去り、同窓会の皆様笑顔が集え、会員相互の「絆」が深まる会が実現できることを祈念いたしております。今後ともよろしくお願ひします。

山形県立新庄神室産業高等学校

同窓会 広報委員会

02333-2818777
(新庄神室産業高校内)